

令和八年度

滋賀短期大学 学校推薦型選抜 B (I期)

## 基礎テスト 問題用紙

受験番号

氏名

### 【注意事項】

- 1 問題用紙は、表紙を含め5頁です。解答用紙は1枚です。(計5枚)
- 2 各頁の左上の番号で、枚数を確かめなさい。
- 3 解答用紙に、受験番号と氏名を記入しなさい。
- 4 問題用紙の表紙に、受験番号と氏名を記入しなさい。
- 5 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 6 次の指示があるまで、そのまま待ちなさい。

【1】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「文化」というと、すぐ芸術、美術、文学や、学術といったものをアタマに思いうかべる人が多い。農作物や農業などは「文化圏」の外の存在として認識される。

しかし文化という外国語のものは、英語で「カルチャー」、ドイツ語で「クルツール」の訳語である。この語のものと意味は、いうまでもなく「耕す」ことである。地を耕して作物を育てること、これが文化の原義である。

これが日本語になると、もつぱら「心を耕す」方面ばかり考えられて、はじめの意味がきれいに忘れられて、枝先の花である芸術や学問の意味の方が重視されてしまった。しかし、根を忘れて花だけ <sup>A</sup> を見ている文化観は、根なし草にひとしい。

文化の出発点が耕すことであるという認識は、西欧の学界が数百年にわたり、世界各地の未開社会に接触し調査した結果、あるいは考古学的研究、あるいはしよさい<sup>ア</sup>における思索 <sup>①</sup>などを総合した結論である。人類の文化が、農耕段階にはいるとともに、きゆうげき <sup>イ</sup>に大発展をおこしてきたことは、まぎれもない事実である。その事実の重要性をよくよく認識すれば、「カルチャー」という言葉で、「文化」を代表させる態度は賢明 <sup>②</sup>といえよう。

人類はかつて猿であった時代から、毎日食べつづけてきて、原子力を利用するようになった現代にまでやってきた。その間に経過した時間は数千年でなく、万年単位の長さである。また、そのぼうだ <sup>ウ</sup>いな年月の間、人間の活動、労働の主力は、つねに、毎日の食べるもののかくとくにおかれてきたことは疑うよち<sup>オ</sup>のない事実である。近代文明が高度の文化の花を開かせた国においても、食物生産に全労働量の過半 <sup>③</sup>を必要とした時代は、ついこのあいだまでの状態であった、とはいえないか？

人類は、戦争のためよりも、宗教儀礼のためよりも、芸術や学術のためよりも、食べる物を生み出す農業のために、いちばん多くの汗を流してきた。現代とても、やはり農業のために流す汗が、全世界 <sup>B</sup> 的に見れば、もつとも多いであろう。過去数千年間、そして現在もいぜんとして、農業こそは人間の努力の中心的存在である。このように人類文化の根元であり、また文化の過半を占めるともい得る農業の起源と発達をこれからながめてみよう。

農業を、文化としてとらえてみると、そこには驚くばかりの現象が満ちみちている。ちょうど宗教が生きている文化現象であるように、農業はもちろん生きて文化であって、死体ではない。いや、農業は生きているどころでなく、人間がそれによって生存している文化である。消費する文化でなく、農業は生産する文化である。

農耕文化は文化財に満ちみちている。農具や農作技術は、原始的どころか、全世界のほとんどの農耕民のものがそのまま驚くばかり進歩したものになっている。その一つずつに起源があり、また伝播 <sup>④</sup>があり、発達や変遷 <sup>⑤</sup>があるが、そのすべてをときあかすことは、人類の全歴史をあらためて述べることとなるほどであるが、ここではその大すじだけを述べてみよう。

『栽培植物と農耕の起源』中尾佐助 岩波新書

問一 ——— 線①から⑤の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 ——— 線アからオのひらがなを漢字に直しなさい。

問三 筆者が述べる「文化」の本来の意味として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- (ア) 芸術や学術を発展させること
- (イ) 心の豊かさを育てること
- (ウ) 土地を耕し、作物を育てること
- (エ) 宗教や文学などを尊ぶこと

問四 次の小問①および②に答えなさい。

① 次の文の空欄に入る言葉として最も適切なものを、次の選択肢の中から一つ選びなさい。

筆者は、農業を人類文化の「 」をなすものと考えている。

- (ア) 象徴      (イ) 根幹      (ウ) 対極      (エ) 結果

② 次の文の空欄に入る言葉として最も適切なものを、次の選択肢の中から一つ選びなさい。

筆者は、傍線部A「根を忘れて花だけを見ている文化観」を「 」にたとえて批判している。

- (ア) 根深い伝統
- (イ) 実を結ばない農業
- (ウ) 根なし草のようなもの
- (エ) 多様な文化のあり方

問五 ——— 線C「農業を文化としてとらえてみると、そこには驚くばかりの現象が満ちみちている。」の文中の「そこ」が指している内容として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- (ア) 農業の労働がどれほど大変であるかという現実の側面
- (イ) 農業が人間の歴史の中心であり続けてきたという事実
- (ウ) 農業を文化の一部として見直したときに見えてくる多様な価値や側面
- (エ) 芸術や学問のように洗練されたものこそが文化であるという考え方

問六 筆者は ——— 線D「農業はもちろん生きていく文化」と述べていますが、これはどういう意味か。文章の内容に即して、30字以内で説明しなさい。

問七 文章では、 ——— 線B「現代とても、やはり農業のために流す汗が、全世界的に見れば、もっとも多いであろう」と述べられています。この筆者の主張が示す、農業に対する認識について、本文の内容をふまえて100字以内で書きなさい。

【2】 それぞれの問に答えなさい。

問一 次の各文の中で、誤用されている語がなければ解答欄に○と書き、あれば正しく書き直しなさい。

- a 円をドルに換える。( )
- b 彼女は陸上部の部長を勤めた。( )
- c 本人の意向に基づいて進路を決める。( )
- d 地域活性化を測るために、イベントを開催する。( )
- e 教育を受ける権利を保証する。( )

問二 次の漢字の同意語に最も適するものを語群から選んで書きなさい。

- ① 上品 ( )
- ② 卓越 ( )
- ③ 抽象化 ( )
- ④ 努力 ( )
- ⑤ 憤慨 ( )

〔語群〕 一般化 寛容 機知 倦怠 精進 具体化 皮肉 非凡 揶揄 優雅 愉快 立腹
--

問三 次の漢字の対義語に最も適するものを語群から選んで書きなさい。

- ① 進歩 ( )
- ② 整理 ( )
- ③ 秩序 ( )
- ④ 明快 ( )
- ⑤ 利用 ( )

〔語群〕 曖昧 革新 昇進 後退 混沌 散乱 自由 制限 伝統 発展 廃棄 明瞭
--

問四 数字が使われている四字熟語について、空欄を埋めなさい。

- ① ( ) ( ) 死 ( ) ( ) 生 ② ( ) ( ) 位 ( ) ( ) 体 ③ ( ) ( ) 載 ( ) ( ) 遇
- ④ ( ) ( ) 転 ( ) ( ) 起 ⑤ ( ) ( ) 人 ( ) ( ) 脚

問五 次の文の傍線部は、身体の一部を表わす語が入る慣用句です。( )に入る適切な語を書きなさい。

- ① 生徒たちは先生の話に( ) ( )を傾けていた。
- ② 彼にはずっと世話になっていて、( ) ( )が上がらない。
- ③ あまりの惨状に( ) ( )を疑った。
- ④ 先生は生徒の進路に( ) ( )を砕いてくれた。
- ⑤ このプロジェクトは( ) ( )が折れたが、やりがいもあった。